

見てみよう！

小・中学校の学習風景

CASE.1

加古川 中学校

かこがわスマートスクール推進モデル校

3年生 河合拓実さん

40人弱のクラス全員の意見が大画面に映し出されると、普段は手を挙げない友達の考えも知ることができて、考え方の幅が広がります。



PTA会長 富田資之さん

ICTはこれからの時代必要だと思っています。子どもを信じて、危険性や心配事を考えるのではなく良い面を引き出せるよう応援したいです。



スマートスクール推進担当 澤伸明教諭



大型モニターは以前から使っていましたが、端末が使えるようになると相互活用ができ、ICTの学びが一気に加速しました。端末の持ち帰りで、今後は臨時休校時にリモートで授業をしたり、登校できない生徒をサポートしたりと、学びを止めない体制を整えます。

ICTで
意欲的に学習できる
環境を作ります
加古川中学校
山本照久校長



全校生徒が1000人規模の本校は、かこがわスマートスクール推進モデル校ということもあり、授業だけでなくリモートでの全校集会や保護者向けの便りの電子化、出欠ツールの導入など、さまざまな事に意欲的に取り組んでいます。生徒は端末を毎日家に持ち帰り、自習学習にも使っています。

最近、生徒会が端末を使う際の規則を自分たちで作りました。世間ではインターネットを介したトラブルや犯罪が発生していますが、端末を使うことにはメリット・デメリット両方ありますが、それはどんな道具に関しても言えることです。教員は生徒を見守りながら、メリットを生かした学習や生活が出来るよう工夫を進め、どんなデメリットがあるか早い段階で気付き対策を知っておくことが大切だと考えています。

学校で長年培ってきた教育方法にICTを用いた学習方法を融合させ、生徒がより意欲的に楽しく学習ができる環境を目指します。

6年生 福井涼也さん

調べ学習をするとき、端末で検索しても知りたいことが出ず、本の方が早いと感じることがあります。情報検索が上手になりたいし、本もたくさん読もうと思います。



PTA会長 橋本直樹さん

端末を使った授業は画期的だと思えます。子どもは楽しみながら学習しているようです。読書や書くことも大切にしなが、併用して欲しいですね。



CASE.2

平岡北 小学校

6年担任 田中麻紀子教諭



児童の端末にはデジタル学習ドリルが入っています。答え合わせがすぐにでき、児童は自分のペースで先に進んだり、復習したりしています。教員側は履歴を見て学習の進み具合を確認できます。児童がどの教科のどの部分でつまづいているのが明確になり、授業をする際の参考にでき、個別支援につながっています。

ギモンに 答えます！

- Q これからは端末を使う授業だけに変わるの？
A 端末を使う授業は多くなりますが、教科書を読んだりノートに書いたりする学習と併せ、端末を文房具のように使っていきます。
- Q 「書く力」「考える力」が弱くならないの？
A 文字を書く力は大切です。これまで行ってきた漢字練習や、ノートに自分の考えをまとめる学習も引き続き行います。
- Q 辞書や図鑑も大事では？
A 辞書や図鑑、新聞などから調べる力も重要です。書籍とインターネットをうまくミックスさせ活用します。

スマートスクール
活動の紹介は
こちら



問い合わせ／

教育研究所 ☎423・3996
学校教育課 ☎427・9758